

## 一般社団法人日本CFO協会2017年度事業報告書

自2017年4月1日 至2018年3月31日

### 1. 事業報告

当期におきましても、CFOや経理・財務部門を取り巻く環境は目まぐるしく変化しました。ROEなどの資本規律を企業経営に取り込み、中長期の視点で将来事業をマネジメントしていく経営が資本市場から強く求められる一方、公益資本主義やESGといった動きにも見られますように、社会・環境といった価値基準による、創造的でより社会的視点による経営が求められるようになってきました。また、こうした変化は第四次産業革命とも言われるデジタルテクノロジーの飛躍的進展により大きく加速されつつあり、単なる事業オペレーションの変化にとどまらず、ビジネスモデルや産業構造の変革として国境を越えたレベルで進展しています。

日本企業の変革を担う会員の皆様が変化を先取りし、変化に挑む積極的な経営戦略を実践し、より大きなリスクに向かって挑戦するリーダーシップを発揮することができますよう、「働き方改革元年！」をキーワードとして掲げ、当期も新しい取り組みを含め多くのサービスを会員の皆様にご提供させて頂きました。具体的な活動内容は以下の通りです。

#### (1) 教育・啓蒙活動

- ・ 会員に対する情報提供の場として開催しているCFOセミナーを、以下の通り計15回開催しました。

(開催日)	(セミナータイトル)
4月20日	有報・連結短信・計算書類の整理・統合と四半期開示制度廃止への動き、そして管理会計のパラダイムシフト
5月18日	超高速！グローバルガバナンス
6月15日	事業投資のリターン向上に、経理・財務部門が果たす役割
7月6日	ソーシャルメディア時代のIR（投資家向け広報）
9月7日	海外子会社の経営管理強化のために何をすべきか
9月21日	データを用いた新しいスタートアップ株価算定方式
10月5日	税務戦略としての連結納税
10月19日	失敗しないCFO転職の進め方
11月16日	研究開発税制の改正内容と活用ポイント
12月7日	何故届かない？現場にある管理会計情報！
1月18日	CFO、経理・財務組織が担う経営管理・企画機能についての実態と課題
2月1日	経営者のための管理会計CCC（キャッシュ・コンバージョン・サイクル）のススメ
2月15日	RPA導入の現状についての考察
3月1日	グループ経営管理情報の見直し
3月15日	持続的企業価値増大をもたらす企業戦略の考察

- ・啓蒙活動の観点より会員の方以外にも対象を拡大し広くご案内を行ったイベントとして、当期も以下のイベントを開催しました。

5月26日 グローバル税務フォーラム  
7月12日 CFO NIGHT!!2017  
7月20日 グローバルM&Aフォーラム  
9月19日 連結決算実務フォーラム  
12月14日 CFOフォーラム・ジャパン2017

- ・本年よりリードエグジビションジャパン株式会社が主催する「会計・財務EXPO」に協力をを行い、東京（7月26日から3日間）、大阪（11月15日から3日間）で展示会を行い、会場内にて「働き方改革」についてのアンケート調査を実施しました。
- ・2014年度に発足したテーマ別の部会「M&A部会」「グローバル財務部会」「国際税務部会」「グループ与信管理部会」（旧グローバル取引先管理部会）および、個人会員限定の部会である「CFOリーダーシップ部会」を当期も継続して開催しました。また、デジタルテクノロジーの活用をテーマとして「AI・ロボティクス部会」を発足しました。
- ・法人会員を対象に、CFO相当の役員に限定した朝食会「CFOラウンドテーブル」を4回開催しました。また、次世代のCFOを担う方々を対象とした勉強会「Next CFO Society」を6回開催しました。
- ・関西地区の会員の会合として、「関西地区友の会」を4回開催しました。
- ・中部地区の活動としてPwCあらた監査法人との共催にて実施している中部地区「経理役員・部長懇話会」を2回実施しました。
- ・明治大学国際総合研究所（MIGA）と東京大学公共政策大学院が開催する「コーポレートガバナンス研究会」に協力しました。
- ・SMBCコンサルティング株式会社と共催で、次世代のビジネスリーダー育成を目的とした課題解決型ビジネススクール「CFOラボ」の第一期を開講（全15回）しました。
- ・会員同士で個人の知識と経験を共有し、活用しあうことを目的とした「自分の未来づくりプロジェクト」を開始しました。
- ・ベンチャーCFO育成講座の第二期（全6回）を開催しました。
- ・RPA活用の推進を支援する「RPA（ロボティクス）体験&トレーニング講座」および同講座の「ステップアップ編」の2つの研修講座を開始致しました。  
また、受講者のRPA導入のサポートを行うための「RPAコンシェルジュ」を立ち上げ、導入を支援する組織を立ち上げました。
- ・オンライン情報誌「CFOFORUM」を毎月発行しました。

## (2) 資格・検定活動

- ・ 一般社団法人金融財政事情研究会と共同で実施しているプロフェッショナルCFO資格試験の受験者数は400人と前期比123人の増加となりました。
- ・ 経済産業省経理・財務人材育成事業経理・財務スキル検定（FASS検定）の受験者数は5,135人と前期比61人の増加となりました。その内、経済産業省平成23年度委託事業を受けて開発したグローバルFASSテストの受験者数は450人と前期比241人の増加となりました。
- ・ 専門性の高い実務領域のスキルを可視化するための施策として昨年度導入致しました「連結決算実務検定の受験者は67人と前期比1名の増加となりました。
- ・ 検定対策講座を中心にEラーニング形式で実務研修が受講できる「CFO School」に、「連結決算実務検定対策講座」を14講座新しく追加しました。
- ・ 当期末時点における資格認定者数は、ジェネラルCFOが449人、グローバルCFOが332人、プロフェッショナルCFOが263人、スタンダードCFOが330人となり、CFO資格認定者は合計で1,374人となりました。

## (3) 調査・研究活動

- ・ 経営・財務分野のさまざまなベンチマーク情報を提供する目的で「財務マネジメント・サーベイ」を以下のテーマにて5回実施しました。

「グループ経営の未来におけるCFOの役割」

「RPA（Robotics Process Automation）に関する実態調査」

「請求書の電子化に関する調査」

「CFO、経理・財務組織が担う経営管理・企画機能についての実態と課題」

「企業不正に関するアンケート」

## (4) 会員数

- ・ 個人会員の新規入会者数258人、法人会員の新規入会社数16社で、当期末の会員数は個人会員が1,928人、法人会員は208社となりました。

## (5) 損益の状況

- ・ 売上高は121,868千円と前期比6,819千円増加しました。  
会費収入につきましては、入会金収入は4,368千円と前期比240千円の減少、年会費収入は63,629千円と前期比745千円増加しました。  
部会収入は、5つのテーマ別部会全てが当期に新年度の募集を行ったことから9,267千円と前期比6,359千円の増加となりました。  
受験料収入は38,877千円と前期比775千円減少しました。

- ・ 費用につきましては、イベント・フォーラム・部会の充実、およびWEBサイトおよびシステム開発により113,293千円と前期比8,564千円増加しました。
- ・ 営業利益は8,575千円と前期比1,745千円減少しました。当期純利益は9,315千円と前期比で3,494千円の減益となりました。

## **2. 2018年度の活動**

### **(1) 活動計画**

2018年度におきましても、より一層の会員サービスの充実を目的として、資格認定、教育、調査研究、コミュニケーションそれぞれの事業分野において、引き続き従来の活動を継続して質の向上に努めていきます。特に、経理・財務分野における働き方改革の支援を継続し、「クリエイティブ！経理・財務」をキー・メッセージとし、より付加価値が高いクリエイティブな仕事へと会員の皆様が取り組んでいけますよう活動を充実させていく予定です。

### **(2) 事業予算**

2018年度は、入会金収入6,300千円、会費収入66,000千円、部会収入9,500千円、受験料収入44,500千円を予定しており、売上高は132,200千円、また純利益は13,173千円を予定しています。

以 上